

会

報

鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究会
URL <http://ajgika.ne.jp/~kagoshima/>

あいさつ

鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究会
会長 長元 武彦

昨年度に引き続き本年度も、本研究会の会長を拝命いたしました「長元武彦」です。これまで諸先輩方が繋いでこられた本研究会の歴史を踏まえ、さらに発展させるべく、微力ではございますが努力いたします。会員各位におかれましても、それぞれの立場でご尽力賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年度5月8日に新型コロナウイルス感染症は「2類相当」から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行しました。このことに伴い、大きく制限がかかっていた諸教育活動は、原則制限がなくなりました。

このような状況下、技術・家庭科教育に対する情熱を再燃させるべく、ものづくり競技大会や作品展、そして各地区輪番での県大会を進めて参りました。昨年度の始良・伊佐地区大会に続きまして、本年度、南薩地区における県研究大会では、南指宿中学校を会場に技術と家庭の両分野の授業提供により、授業研究、研究発表等にオンラインも含め県内各地から多くの参加者を得て充実した大会ができました。授業並びに会場を提供いただきました南指宿中学校の先生方に、改めてお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。お蔭をもちまして、昨年度から取り入れてきたハイブリッドの取り組みなどを含め、運営についてのノウハウをより確実なものにすることができました。

令和8年度には本県で全国大会を開催します。令和5年度の南薩地区での県研究大会を経て、来年度から鹿児島市での県大会を実施することで全国大会の準備を進めて参ります。ちなみに、令和6年度は武岡中学校を会場とすることが決定しています。ついては、県下技術・家庭科担当者が心ひとつに、取組を進めて参りましょう。

各学校では、これまで培ってきた研究の成果を活かし、問題解決の行動としての実践的・体験的な活動をさらに充実させていく必要があります。技術分野では、生活や社会における事象を、技術との関わりの視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などに着目して技術を最適化する視点で取り組むとともに、家庭分野では生活文化の継承という視点での取組を充実させてください。

最後になりましたが、日頃から本研究会に、ご支援・ご指導頂いております県教育委員会、総合教育センターをはじめ、県下各市町村教育委員会、教育事務所、本研究会顧問、特別顧問の先生方にも深く感謝申し上げます。

第72回鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究大会を終えて

南薩地区

1 はじめに

令和5年度の鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究大会を南薩地区が担当しました。昨年度に引き続き午後からの開催となりましたが、県内各地から多数の方々に参加していただき心より感謝申し上げます。本地区は小・中規模校がほとんどで技術・家庭科の免許所有者は多くはありません。コロナ禍で他校の先生方との交流が少なくなった中で、研究大会への準備を始めることに不安がありましたが、研修会や研究授業など継続した取組を実施することで、今回の研究授業や大会運営につなげることができました。教科について学ぶ機会が少なくなっていました。南薩地区の先生方をはじめ、他地区の先生方と互いに学び合うことができた大会になったと感謝しています。

2 研究大会内容について

- (1) 日時 令和5年10月24日(火)
12:30~16:40
- (2) 会場 指宿市立南指宿中学校
- (3) 研究授業
 - <技術分野>
授業者 森 哲也 教諭
授業内容:「C エネルギー変換の技術」
 - <家庭分野>
授業者 橋口 琉菜 教諭
授業内容:「B 衣食住の生活 食生活」
- (4) 研究発表
 - <全体発表>
鹿児島大学教育学部附属中学校 山口 隼人教諭
内容:「学びを生かし合い、よりよい生活を工夫し創造する資質・能力を育む技術・家庭科教育」
 - <技術分野> ※九州大会熊本大会発表
鹿児島市立西紫原中学校 竹下 誠 教諭
内容:「学びを生かし合い、よりよい生活を工夫し創造する資質・能力を育む技術・家庭科教育」

研修会だより

総務部

<技術分野>

- 1 日時 令和5年7月28日(金)
- 2 会場 鹿児島市立西紫原中学校
- 3 参加人数 15人
- 4 内容
 - (1) 3Dモデリングソフトを用いた構想図の描き方
 - (2) 講義
鹿児島市立西紫原中学校 竹下 誠 教諭
- 5 参加者の感想
 - 免外の私でもどうにかこうにかついて行けました。子どもたちの方がタブレット操作に長けているので、一緒にうまくなっていこうと思います。参加して良かったです。ありがとうございました。
 - すごく勉強になりました。4月(春休み)にも実施していただければ、授業計画を立てやすいと感じました。
 - 「Tinkercad」を耳にすることはあったのですが、初めて触れてみて授業で活用できるのではないかと思います。夏季休業中に自分なりに勉強してみます。今日はありがとうございました。

<家庭分野>

- 1 日時 令和5年8月3日(木)
- 2 会場 鴨池公民館
- 3 参加人数 21人
- 4 内容
 - (1) 講義「今確認したい家庭科の基本」
講師：鹿児島市教育委員会学校教育課指導主事
柿元慶子 先生
 - (2) 講義「五感で育む食のしあわせ」
講師 株式会社 Table of Smile 代表取締役
杉水流直子先生
- 5 参加者の感想
 - たくさんの学びがあった充実した研修会でした。授業にさっそく生かせそうで、とても役立ちました。担当してくださった先生方、準備してくださった先生方、本当にありがとうございました。
 - 日頃学べないようなすばらしい研修内容なので、もっとたくさん先生方が参加されたいのにと、もったいない感じでした。楽しく学べました!ありがとうございました。
 - 初めて家庭科の指導案検討に参加させていただいた。献立に必要な食材を選択するという行為は同じでも、「どのひき肉をどのくらいの予算で買うのか」と「ハンバーグを作るために必要な食材をどのくらいの予算で買うのか」では、子どもたちに発揮させる能力が全く異なってくるということがわかった。私は11月に研究授業をするのだが、勤務校で実施する指導案検討の感覚をつかむことができ、良い経験をさせていただいたと感じた。

今年度は、第72回県研究大会南薩地区大会が指宿市立南指宿中学校で行われました。昨年度に引き続き、午後からの開催ではありましたが、久しぶりに体育館で全体会・作品展も実施することができました。準備から大会終了まで、会場校である南指宿中学校の先生方、南薩地区の役員の先生方の協力をいただき、盛大に開催することができました。御参加、御協力いただいたすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。来年度は、鹿児島市内で、5年ぶりの1日開催を予定しております。総会にて1次案内をする予定ですので、多くの方の御参加をお待ちしております。

第17回ものづくり競技大会が10月21日(土)にかごしま文化工芸村で実施され、3名の選手が九州大会出場を果たしました。そのうち、西紫原中学校の生徒が第2位となり、全国大会へ出場することになりました。

第37回県中学校技術・家庭科作品展は、一次審査を書類審査で行い、県大会会場に技術分野19点、家庭分野22点を展示いたしました。そのうち、技術分野、家庭分野それぞれ3点ずつを県の特選として選出し、九州大会、全国大会に出品しました。

令和8年には全日中技家研全国大会が鹿児島で実施される予定です。今後も県内の先生方の御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

お知らせ

県版学習ノートを多くの学校で採用していただいております。来年度のノートの案内を県HPに2月頃アップする予定です。そちらを参考にぜひ採用の検討をお願いいたします。

<問い合わせ・連絡先>

鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究会
資料部長 小野原 雅啓

熊毛郡屋久島町安房2371番地67
屋久島町立安房中学校
TEL 0997-46-3262
FAX 0997-46-3743